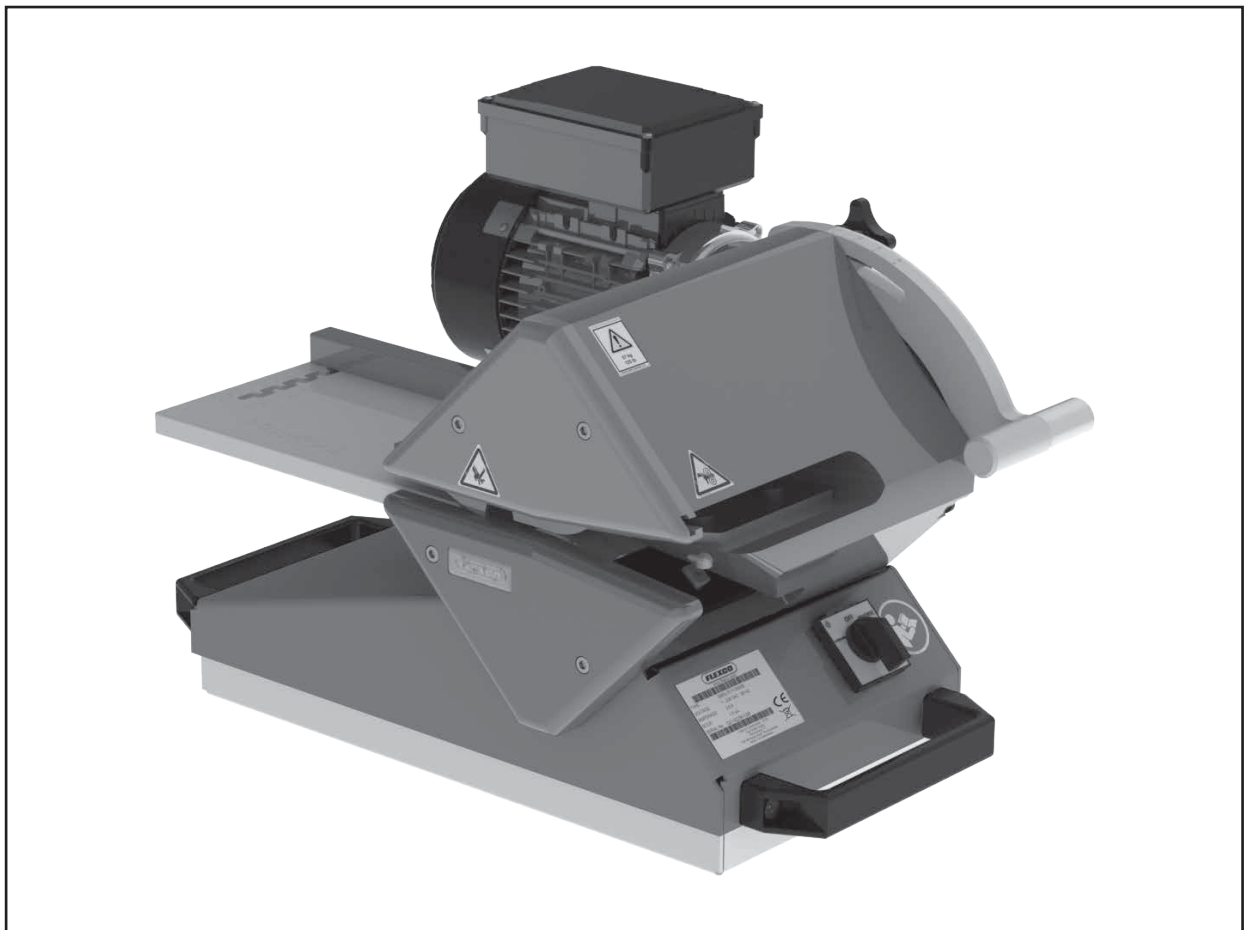


Novitool® Ply 130™ セパレータ プライブレード安全・操作マニュアル

コンベヤベルトのプライセパレートシステム



警告

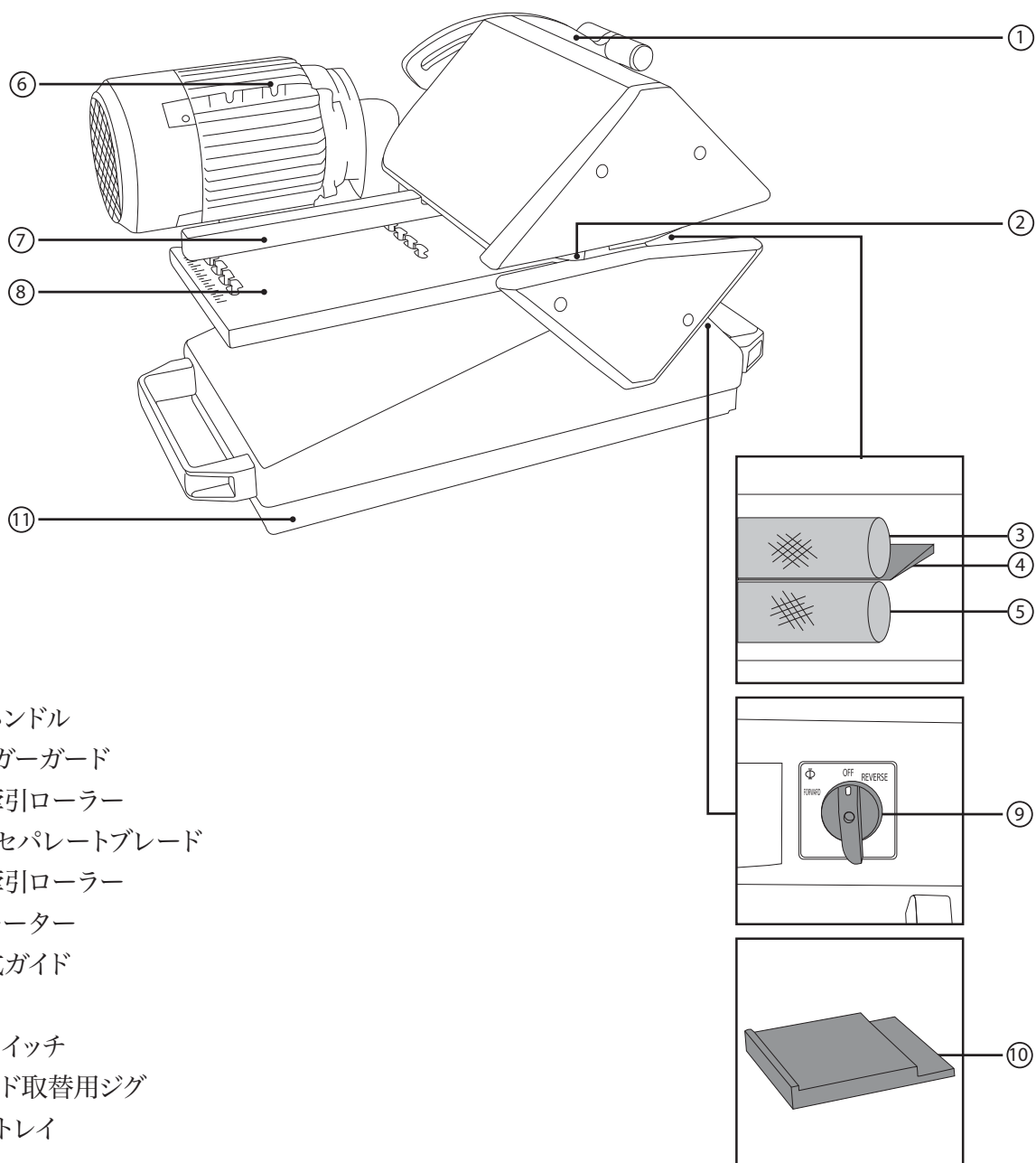
本製品の使用方法を誤ったり安全対策を怠ると、重大な身体損傷につながる可能性があります。本マニュアルをよくお読みになり、製品の機能と安全性に関する情報を正しく理解した上でご使用ください。その他のユーザーや所有者が製品を使用する際に参照できるよう、本マニュアルを安全な場所に保管してください。

目次

Ply 130™ の主な構成	3
説明	4
一般的な安全規則	5
Ply 130™ のメンテナンス - ブレードの交換.....	9
Ply 130™ のメンテナンス - 臨機のブレード/ローラー隙間の 測定および調整	14
部品リスト.....	23
技術支援.....	24

免責条項 Ply 130™ プライセパレータは各種ベルトを用いた試験に合格していますが、必ずしも期待どおりの結果が得られるとは限りません。ベルトの加工には、作業者の経験やある程度の技術水準が問われます。また、仕上がりは実践方法や材料組成、ブレードの鋭利さによっても左右されます。予期せぬ結果が得られた場合は、Flexco までご連絡ください。

Ply 130™ の主な構成



説明

Ply 130™ は、熱可塑性コンベヤベルト、PVC、またはポリウレタンのプライスライスに使用します。ベルトをプレスでエンドレス加工する前の準備作業として、多くの場合にこのようなスライスを行う必要があります。

このプライセパレータは、深さ 130 mm (5") まで一気にスライスできるという大きな特徴があります。

















Ply 130™ は頑丈な構造のため、薄手・厚手を問わず熱可塑性ベルトを正確にスライスでき、薄さ

0.35 mm (0.014") の部材も分離可能です。ベルト材料およびトップカバー厚によっては、ホイル/フィルムの作成も可能です。

また、Ply 130™ は (ダブル) フィンガー継手やステップ継手の準備にもご利用いただけます。調整ハンドルを使い、ベルトのスライス深さを決められます。ベルトのプライごとにスライスが可能なので、1 本のベルトで 2、3 箇所スライスできます。

工具仕様

Ply 130™ 工具仕様		
仕様	最小値	最大値
スライス深さ	40 mm (1.5 in)	130 mm (5.1 in)
カット部より上のベルト厚	0.35 mm (0.014 in)	8 mm (3 in)
カット部より下のベルト厚	0.35 mm (0.014 in)	5 mm (2 in)
最大ベルト厚	該当せず	10 mm (4 in)
工具寸法	560 x 480 x 360 mm (22" x 19" x 14")	
工具重量	57 kg (125 lbs)	

Ply 130™ 注文情報			
アイテムコード	注文番号	マーク	プラグ
Ply 130™			
08800	PLY130-230V+N1PH50HZ-SCHUKO	CE	
08801	PLY130-400V+NV3PH50HZ-IEC60309	CE	
08802	PLY130-115V1PH60HZ-NEMA-5-15	cETL	
08803	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-L6-20	cETL	
08804	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-L6-30	cETL	
08805	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-L6-15	cETL	
08806	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-6-15	cETL	
08807	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-6-20	cETL	
08808	PLY130-230V1PH60HZ-NEMA-6-30	cETL	
08809	PLY130-230V3PH60HZ-NEMA-L15-20	cETL	
08810	PLY130-230V3PH60HZ-NEMA-L15-30	cETL	
08811	PLY130-460V3PH60HZ-NEMA-L16-20	cETL	
08812	PLY130-460V3PH60HZ-NEMA-L16-30	cETL	
08832	PLY130-230V1PH50HZ-IEC60309-16	CE	
08833	PLY130-230V1PH50HZ+N-B51363-13	CE	
08834	PLY130-230V3PH60HZ-NEMA-18-20		
カート			
08100	PLY130-CART		該当せず
交換用ブレード			
08014	PLY-BL-BLADE-&-JIG-KIT		該当せず
08490	PLY130-BLADE		該当せず

一般的な安全規則 - 要保管 -

警告表示:

「危険」: 回避しないと死亡または重傷を招く差し迫った危険な状況を指します。この用語の使用は極限状況に限られます。

「警告」: 回避しないと死亡または重傷を招く可能性がある潜在的危険性を指します。

「注意」: 回避しないと軽症または中程度の傷害を招く可能性がある潜在的危険性を指します。この用語は危険な行為に対する警告にも使用されます。

安全シンボル



世界共通のこのシンボルマークは、具体的な安全事項を特定し、注意を促す目的で使用されています。

安全情報

重大な人的傷害や器物破損を避けるため、以下の注意事項をよくお読みになり、本製品の取扱いについて十分ご理解ください。

1. 作業場所

⚠️ 注意

作業場は常に整理整頓し、十分な照明を確保してください。作業台が散らかっていたり、周囲が薄暗いと事故につながる可能性があります。

⚠️ 危険

可燃性の液体や気体、粉塵のある場所など、爆発性環境での電動工具の使用はお控えください。電動工具は火花を発生し、粉塵や蒸気に発火する恐れがあります。

⚠️ 注意

電動工具の操作中は、周囲に人が近付かないよう注意してください（見物人、子供、訪問者など）。注意散漫は事故につながります。

⚠️ 警告

工具ユニットが完全に停止するまでその場を離れないでください。

⚠️ 警告

使用していない工具は、子供や部外者が近づけない場所に保管してください。訓練を受けていない人物にとってこれらの工具は危険です。

2. 電気保安

⚠️ 危険

本プライセパレータは単体の絶縁工具で、複数の接地電源コードと接地電源装置を必要とします。本機には、適切な電源に接続するための電源プラグが装備されています。

⚠️ 警告

パイプやラジエーター、オーブンレンジ/コンロ、冷蔵庫などの接地面に接触しないよう注意してください。感電する恐れがあります。

⚠️ 警告

電気工具内部に水が入ると電気ショックや故障のリスクが増すため、雨にさらしたり、湿潤環境に保管することは避けてください。

⚠️ 危険

コードを乱暴に扱わないでください。コードを持って工具をぶら下げたり、コンセントから抜く際に引っ張らないでください。熱源、オイル、鋭利な端、可動部の近くにコードを近づけてはなりません。感電のリスクが増すため、破損したコードは直ちに交換してください。

⚠️ 警告

屋外では使用しないでください。本工具は屋内専用です。

⚠️ 警告

電源の切り替えができない場合、工具を使用しないでください。スイッチ制御不能の工具は危険を伴うため、修理が必要です。

修理点検の前に、本機の供給回路をオフにします。修理点検後は、すべての保護接地接続が所定位置にあるか確認します。ヒューズは、電流定格、遮断定格、電圧定格および構造が同一のもののみ交換します。

3. 人的安全

⚠️ 警告

電動工具を操作する際は常に注意を払い、常識的な行動を心がけてください。疲労時および薬物、アルコール、医薬品の影響下で工具を使用してはなりません。電動工具の使用中は、一瞬の不注意が人的傷害につながる可能性があります。

⚠️ 警告

適切な衣服を着用してください。布に余裕のある衣服やアクセサリー、長い髪は可動部に引っかかる可能性があるため、体型に合わない服やアクセサリーの着用を避け、髪はまとめる必要があります。また、可動部に服の一部や手袋、髪を近づけないよう注意してください。

⚠️ 警告

不意の起動を防ぐため、電源がオフになっていることを確認してからコンセントに差し込んでください。指がスイッチに触れた状態で工具を持ち運んだり、電源をオンにしたまま工具をコンセントに差し込むと事故につながる可能性があります。

⚠️ 警告

工具の操作中は無理に身体を伸ばさないでください。正しい姿勢とバランスを常に保ちます。不測の事態が生じた際に適切に制御できるよう、バランスの取れた正しい姿勢で操作することが重要です。

⚠️ 注意

安全装具を着用してください。保護眼鏡を常に着用し、必要に応じて防塵マスクや安全靴、耳栓などを使用してください。

⚠️ 警告

安全装置を改造したり、取り外してはなりません。

⚠️ 警告

ロールやブレードといった可動部や鋭利な部品に手指を近づけないよう注意してください。

⚠️ 警告

移動時以外はストッパーでキャスターを固定してください。

⚠️ 警告

本機は重いため、リフト機材を使用してください。

4. 工具の使用と取扱い

⚠️ 警告

プライセパレータは常に水平な硬い床面上で使用してください。スライス処理は、両手でベルト部材を押さえた状態で行う必要があります。

⚠️ 注意

ベルト部材が詰まったり引っかかった場合は無理に作業を進めず、部材の送入を中止してください。引っかかった部材は、作動方向を逆転させると取り外せます。

⚠️ 警告

電源の切り替えができない場合、工具を使用しないでください。スイッチ制御不能の工具は危険を伴うため、修理が必要です。

⚠ 警告

工具を調整したり付属品を交換する際、ならびに工具の保管や移動時は、電源コードをコンセントから抜いてから行ってください。上記の予防安全措置により、不意の起動のリスクを低減できます。

⚠ 警告

使用していない工具は、子供や部外者が近づけない場所に保管してください。訓練を受けていない人物にとってこれらの工具は危険です。

⚠ 注意

本プライセパレータを熱可塑性ベルト部材以外の物のスライスに使用してはなりません。スライス可能な厚さは 10 mm までです。

⚠ 注意

可動部のずれや固着、部品の破損など、工具の動作に影響を及ぼす可能性のある不具合がないか点検してください。不具合がある場合は、必ず修理してから使用してください。事故の多くは工具のメンテナンス不足が原因です。

⚠ 警告

フットスイッチを使用しない間は、所定の場所に格納してください。

⚠ 警告

移動する際は、コンセントから抜いた電源コードを所定のフックに巻きつけてください。

5. 修理点検とメンテナンス

⚠ 警告

修理点検は正規の修理工が行わなければなりません。無資格者による修理点検やメンテナンスは、怪我のリスクにつながります。

⚠ 警告

本機を開く/修理点検する前に、電源プラグを電源から抜いてください。

⚠ 注意

部品を交換する際は、必ず指定の純正品を使用してください。不正部品を使用したり、メンテナンス指示書に従わなかった場合、感電や怪我につながる可能性があります。

⚠ 危険

ハウジングが破損していたり、完全に閉じていない時は電動工具を使用しないでください。このような場合、電気ショックを招く恐れがあります。ハウジングを修理するまで、あるいはハウジングが完全に閉じるまで工具を使用してはなりません。

⚠ 注意

プラスチック製部品を溶剤で洗浄しないでください。ガソリンやシンナー、ベンジン、四塩化炭素、アルコールなどの溶剤は、プラスチック製部品に損傷を与えたり亀裂を生じさせる可能性があります。プラスチック製部品の洗浄にはこれらの溶剤ではなく、石けん水を含ませた柔らかな布でやさしく拭き、十分に乾燥させてください。

⚠ 警告

欠陥のある/動作に異常のある工具は絶対に使用してはなりません。正常でない動作や異音など、欠陥が疑われる場合は工具の使用を直ちに中止し、電源プラグを抜き、修理を手配してください。

⚠ 注意

適切なメンテナンスで工具を維持してください。ブレードを鋭利かつ清潔な状態に保つことで、工具や鋭利なナイフが適切に整備されていれば、部材の引っかかりや生ずる作業屑が減り、制御もしやすくなります。

6. プライカッターの安全性

⚠ 警告

部材送入口付近に電源コードを近付けないでください。

⚠ 警告

工具を操作する際は電気モーターの反対側、部材送入方向に対し垂直に立ってください。

警告

給送ロールやスライス部分に手を近づけてはなりません。常に、このエリアから自分の手が10cm (3.94") 以上離れている状態で、部材を誘導供給します。

注意

切れ味が悪くなったり、損傷したブレード/ナイフは使用しないでください。

7.PLY CART の安全性

警告

カートを移動する際は昇降や床上の障害物を避け、固定キャスターの方向に逆らわないように押してください。カートを手前に引いたり、水平方向にスライドさせてはなりません。

8. ブレードの交換

警告

電源コードを抜いてください。

注意

ブレードは研ぎ直さないでください。ベルトが完全に分割される可能性があります。

警告

ブレードの交換は、必ず切創防止手袋と保護眼鏡を装着してから行ってください。ブレードは非常に鋭利なため、取扱いには細心の注意が必要です。

警告

ブレードの交換を始める前に、マニュアルに記載の手順をすべて実行してください。

警告

プライセパレータのブレードの取扱いは、訓練を受けた正規技術者が行ってください。

警告

ブレード/ナイフの交換後は、スプリッターをテストし安全性を確認してください。

警告

予備のブレードは安全に保管してください。

Ply 130™ のメンテナンス - ブレードの交換

ブレードの交換を開始する前に以下の点を確認してください:

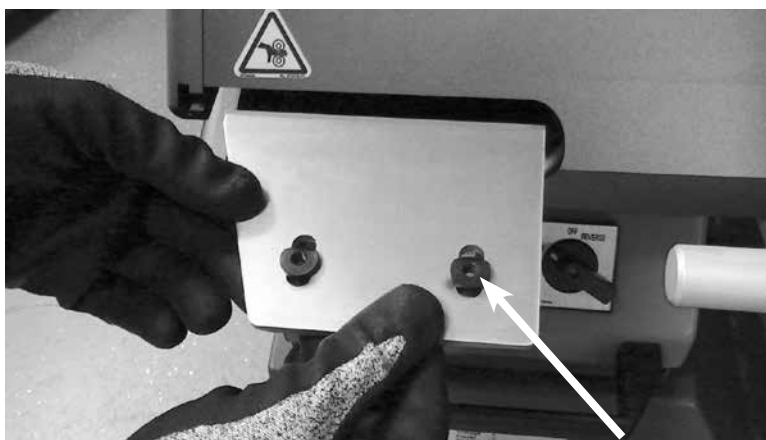
- 電源コードをコンセントから外してください。
- Flexco 交換用ブレード、ジグ、および隙間調整シムをすぐに使えるようにしておきます。
- 作業者は切創防止手袋と保護眼鏡を着用します。

A1

ブレードの底に付いている 2 つのボルトを 5 mm 六角キーで外し、ブレードを取り外します。



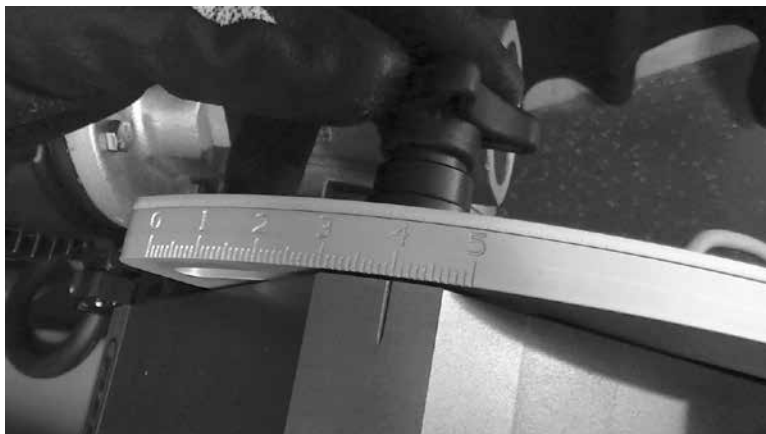
A2



刃先に注意しながらブレードを取り外します。ブレードのナットを外し、後に使用するため取っておきます。ボルトと一緒に外れないよう真鍮製スペーサーを保持します。

警告: ブレードの端には触れないでください。

A3



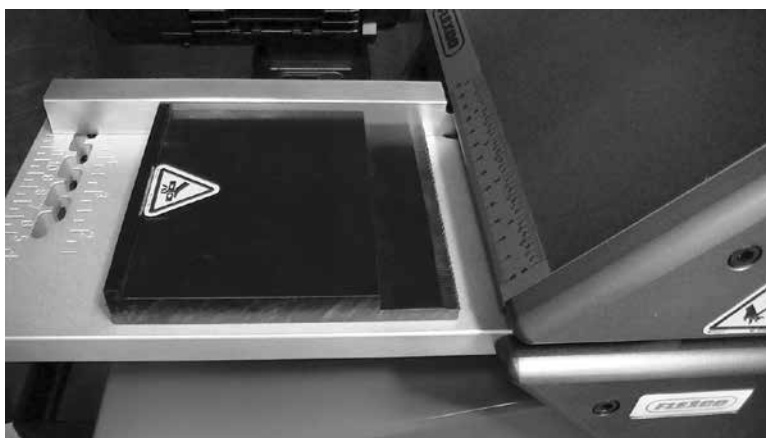
調整ハンドルを 4.0 から 4.5 の位置にロックします。

A4



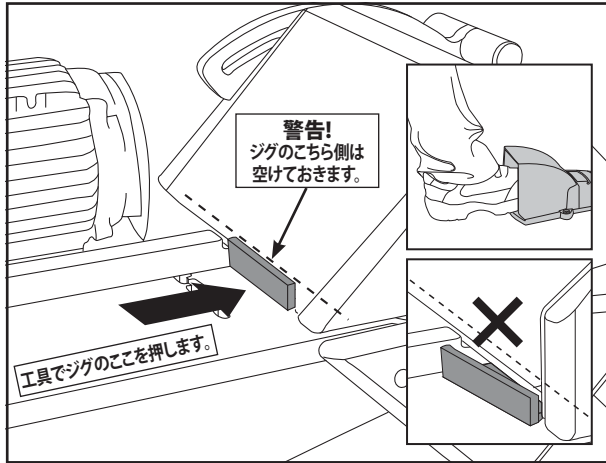
調整ガイドを 120 mm にロックします。

A5



治具の薄い方がローラー側になるように、治具を送り台の上に配置します。電気接続のプラグを入れます。順方向 (FORWARD) の位置にスイッチを回します。

A6



木製ブロックまたは工具を使用して、適度な力でジグを Ply 130 へと押し込み、同時にフットスイッチで Ply をオンにします。ジグのリップが Ply のフレームにしっかり付いたらフットスイッチを押すのを止め、操作スイッチを「オフ」に切替えます。電源コードを抜いてください。

注記: ジグはフレームと平行になっていなければなりません。

注意: ジグがプライセパレータ フレームに入る際は、ピンチポイントに注意してください。



 ピンチポイント



Ply 130™ のメンテナンス - ブレードの交換

A7

斜角が付いている方の面を下に向け、新しいプライセパレートブレードを装着します。
警告: ブレードの端には触れないでください。



斜角が牽引ローラー側を向くようにナットを差し込みます。

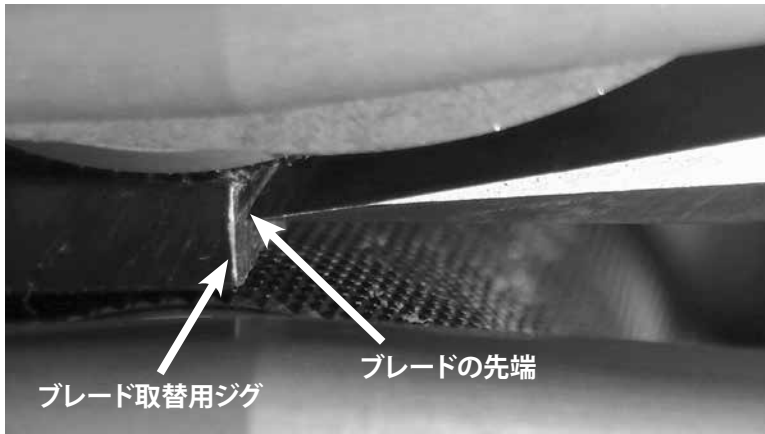
A8



真鍮製スペーサーが Ply フレーム内またはボルト上にあるか確認します。ブレードのシフトがまだできる程度までボルトを指で締めます(背面の長いボルトと前面の短いボルト)。

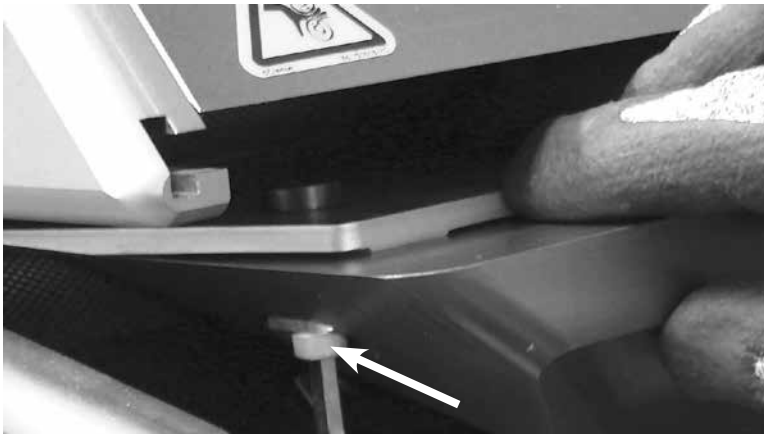
注記: ボルトは取付後、ナット上部を超えて伸びません。

A9



ブレードの裏側から圧力をかけ、ブレードの先端をジグにしっかり固定します。

A10



ブレードのジグへの圧力を保持しながら、ボルトをしっかりと締めます。

A11



電源コードをコンセントに差し込みます。スイッチを「逆方向 (REVERSE)」に切替え、ジグを牽引ローラーから解除します。

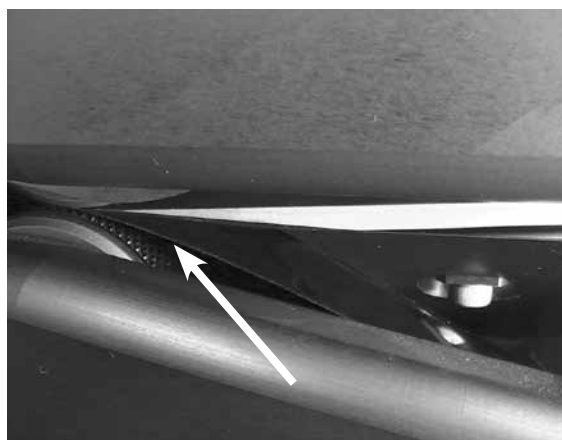
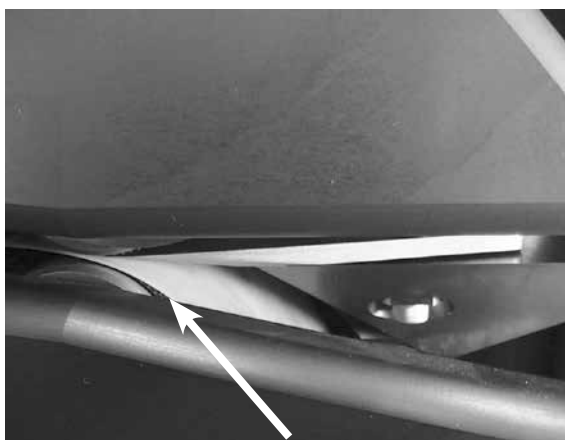
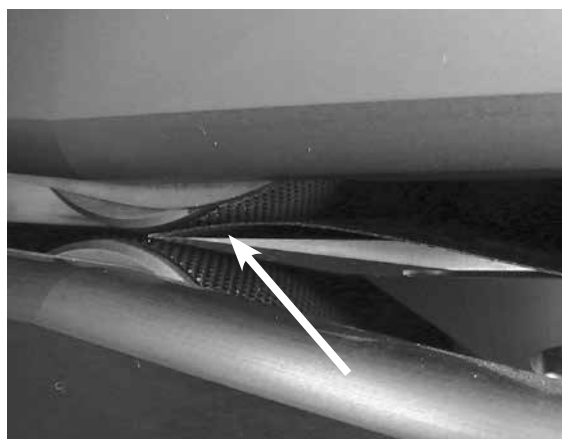
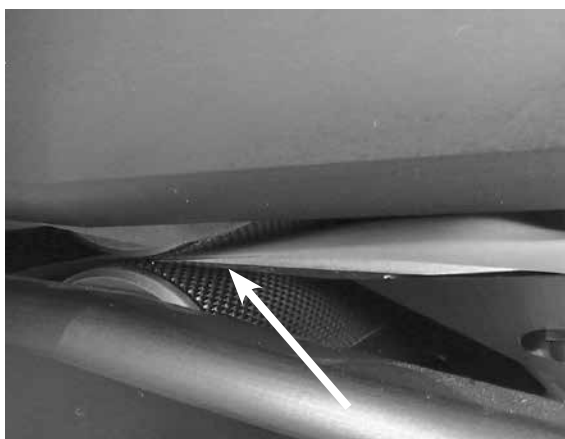
Play 130™ のメンテナンス - 臨機の ブレード/ローラー隙間の測定および調整

ブレード/ローラー隙間を確認する:

- 電源コードをコンセントから外してください。
- プライセパレートブレードを交換した後は、牽引ロールの高さの調節が必要な場合があります。

B1

上部牽引ローラーとブレード上部の間隙を評価するには、まず調整ハンドルをの位置を 0 にします。白い隙間厚シムをプライセパレートブレードと上部牽引ローラーとの間に挿入します。シムが抵抗なく自由に動くようにします。黒い隙間厚シムは使用しないでください (プライセパレートブレードと上部牽引ローラーとの間にフィットしません)。同じ手順を繰り返して、ブレード底部と下部牽引ローラーの間隙を評価します。



B2



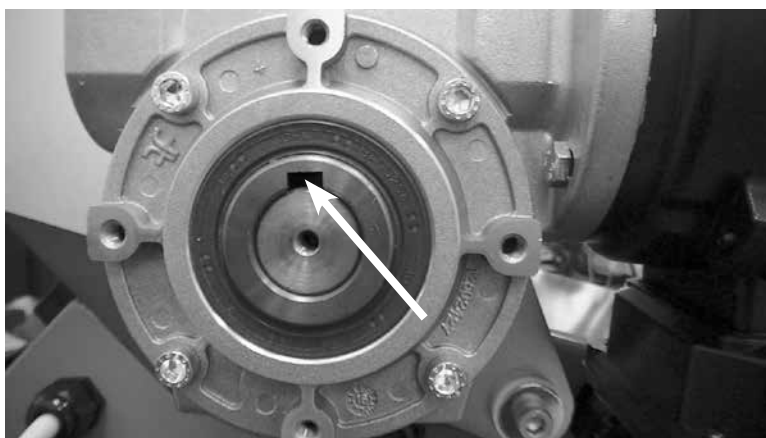
調整が必要な場合は、調整ガードプレートのクランプナットを緩めます。

B3



5 mm 六角キーを使用してハンドルを取り外します。

B4



モーターを外しやすくするには、キーウェイがドライブシャフト上部に配置されるようにします。

B5



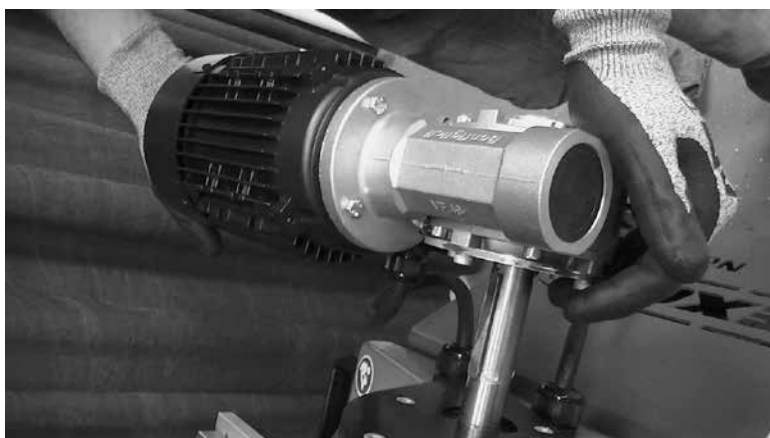
最初に 6 mm 六角レンチを使用してトルクアームボルトを外して電気モーターを取り外し、牽引ローラー調節のための十分なアクセス経路を確保します。

B6



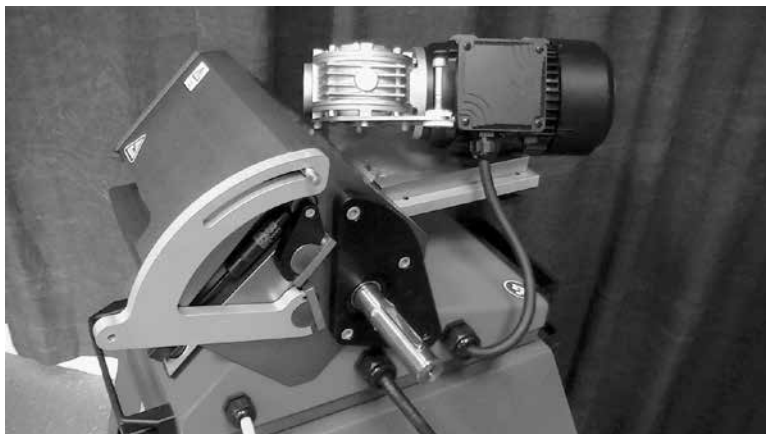
トルクアームボルトを外した後、スペーサーは取っておきます。

B7



モーターをスライドさせてシャフトから外します。

B8



送りトレイ上にモーターを慎重に置きます。



注意: トレイ表面でモーターをスライドさせないでください。

上部ローラーとブレードの間の距離を増減させる調整

B9



上部ローラーを調節するには、ガスプリングを留めるネジを緩め外します。

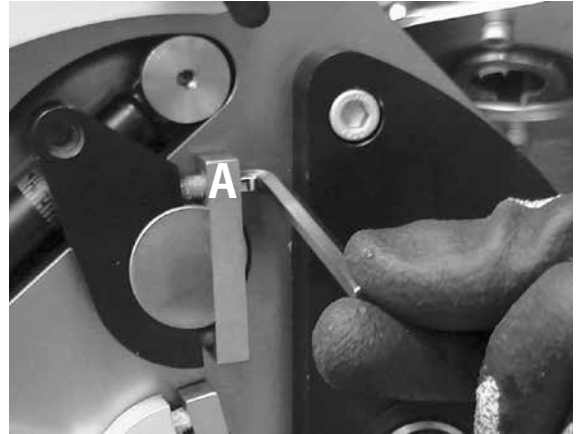
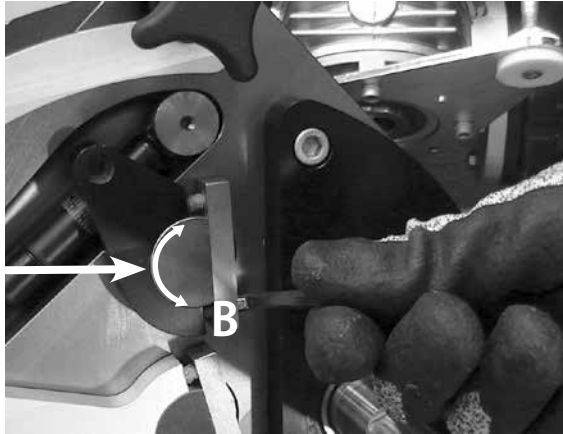
Play 130™ のメンテナンス - 臨機のブレード/ローラー隙間の測定および調整

この調整の目的は、偏心シャフトを回転させることです。A と B の両方で、推奨される 4 分の 1 回転またはシムを合わせる再チェック部の手前まで、回転させることが重要です。

B10

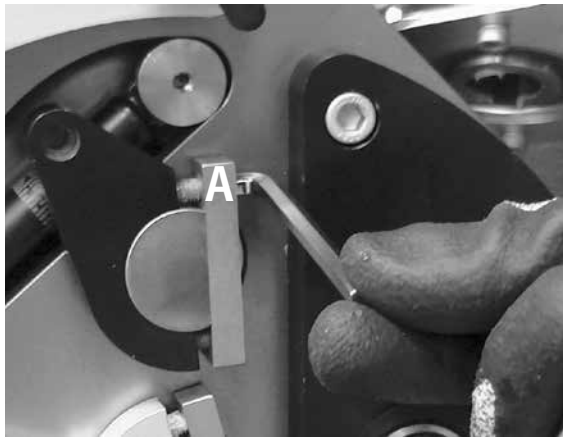
上部ローラーとブレードの間の隙間を広くするには、5 mm 六角キーを使用してネジを係合させ、ネジ B を反時計回りに 4 分の 1 回転させて緩め、ネジ A を時計回りに 4 分の 1 回転させて、または適度に固定されるまで締めます。

偏心
シャフト



B11

ブレードと下部牽引ローラーの間の隙間を狭くするには、ネジ A を反時計回りに 4 分の 1 回転させて緩め、ネジ B を時計回りに 4 分の 1 回転させて、または適度に固定されるまで締めます。



B12



ガススプリングネジを再度取り付けます。

B13

隙間調整シムを挿入し、牽引ローラーとブレード間の隙間を確認します。白いシムを上部牽引ローラーとブレードの間にスライドするとき、抵抗はほとんどないはずです。また、黒いシムは上部牽引ローラーとブレードの間を通ってはなりません。必要に応じて、ステップ F9 ~ F13 を繰り返します。

下部ローラーとブレードの間の距離を増減させる調整

B14



調整ネジにアクセスできるように、調整ハンドルを配置しロックします。

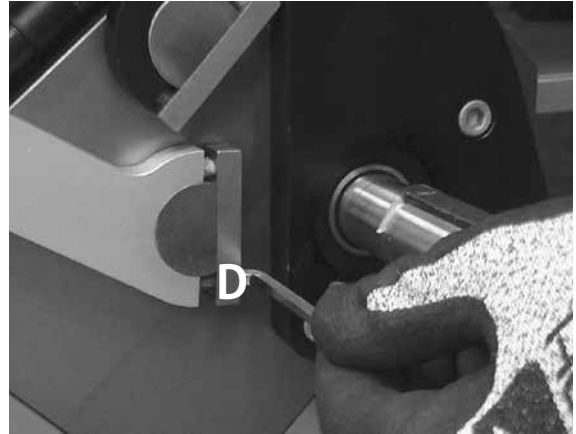
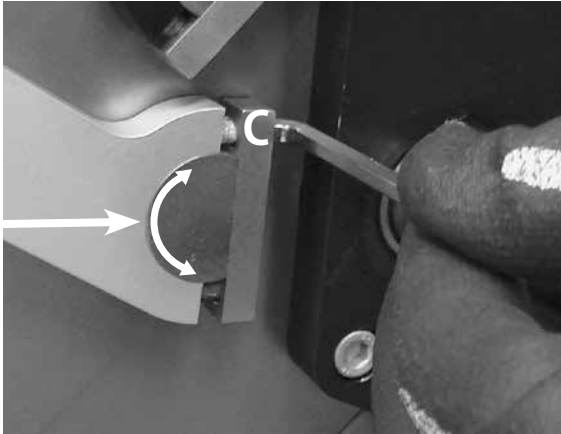
Play 130™ のメンテナンス - 臨機のブレード/ローラー隙間の測定および調整

この調整の目的は、偏心シャフトを回転させることです。A と B の両方で、推奨される 4 分の 1 回転またはシムを合わせる再チェック部の手前まで、回転させることが重要です。

B15

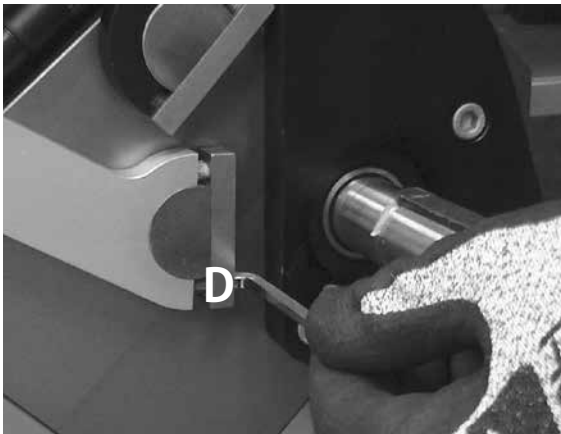
ブレードと下部牽引ローラーとの間の隙間を広くするには、5 mm 六角キーを使用してネジを係合させ、ネジ C を反時計回りに 4 分の 1 回転させて緩め、ネジ D を時計回りに 4 分の 1 回転させて、または適度に固定されるまで締めます。

偏心
シャフト



B16

ブレードと下部牽引ローラーの間の隙間を狭くするには: ネジ D を反時計回りに 4 分の 1 回転させて緩め、ネジ C を時計回りに 4 分の 1 回転させて、または適度に固定されるまで締めます。



B17

調整ハンドルを 0 へと戻しロックします。隙間調整シムを挿入し、ブレードと下部牽引ローラーの隙間を確認します。白いシムをブレードと下部牽引ローラーの間にスライドするとき、抵抗はほとんどないはずです。また、黒いシムはブレードと下部牽引ローラーの間を通過してはなりません。必要に応じて、ステップ B14 ~ B17 を繰り返します。

B18



調整が終わったら、ガードプレートを再設置します。ハンドルの再設置を開始します。

B19



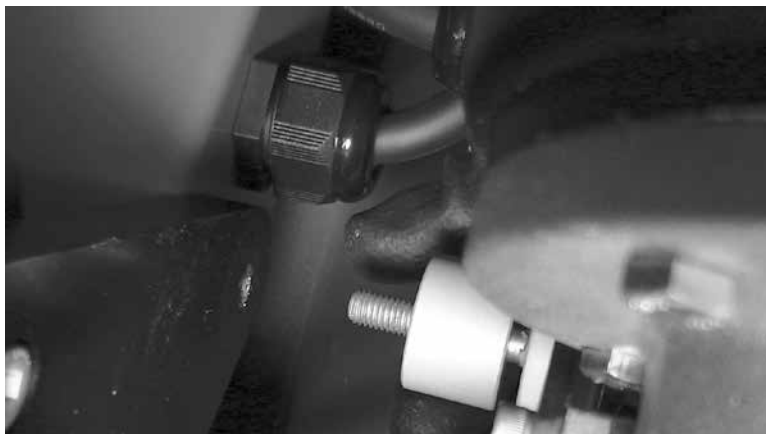
その後クランプナットを再び取り付けます。

B20



モーターを再び取り付けます。シャフトキーをキースロットの位置に合わせます。

B21



スペーサーをモータートルクアームとプライベースの間に配置したフレームへと、モーターを再度組み立てます。8 mm 六角ボルトをワッシャと共に差し込み締結します。



B22



注記: 再組み立ての前に、ゴム製グロメットが所定に位置にあるか確認してください。

部品リスト

Ply 130™ 注文情報	
アイテム コード	注文番号
08014	PLY-BL-BLADE-&-JIG-KIT
08490	PLY130-BLADE
08823	FUSE-GLASS-1.6-AMP
08824	FUSE-6.3-AMP
08826	SELECTOR-SWITCH-CH10
08831	PLY-FOOT-SWITCH
08846	FUSE-SIBA-189140-1.6-AMP
08836	FUSE-1.0-AMP
08837	FUSE-10-AMP
08838	FUSE-15-AMP
08839	TRANSFORMER-PLY130-115/230-24
08840	TRANSFORMER-PLY130-230/460-24
08841	REVERSE-CONTACTOR-KIT-1PH

Ply 130™ ステップカッター注文情報			
少量		大量	
注文番号	アイテム コード	注文番号	アイテム コード
PLY130-STEP-CUT-RETROFIT	08499	PLY130-SNGL-STEP-CUT-BLADE-KIT	08778
PLY130-STEP-CUT	08501	PLY130-SNGL-STEP-CUT-BLADE	08791
品目 (オプション)			
PLY130-STEP-CUT-BLADES (5)	08497		
PLY130-STEP-CUT-GUIDE-EXT	08498		
PLY130-STEP-CUT-TWRENCH	08500		

技術支援

技術支援または修理が必要な場合は、Flexco のカスタマーサービスまでご連絡ください：
www.flexco.com

2 Woodlands Sector 1 • #01-21 • Woodlands Spectrum I • Singapore 738068
電話: +65-6484-1533 • ファクシミリ: +65-6484-1531 • 電子メール: asiasales@flexco.com

Flexco のその他の事業拠点および製品については、www.flexco.com をご覧ください。

©2020 Flexible Steel Lacing Company 01/03/20. 再注文: X5410

